

“じぶん”防災② 万全な準備でいざという時に備える

いつ起こるか分からない自然災害。だからこそ、区民一人ひとりがいざという時に支え合える準備が必要です。頼れる防災アプリやポータル
の使い方をはじめ、大切な命を守るためのヒントや、みんなで協力するためのアクションなど、今すぐできる備えを紹介します。

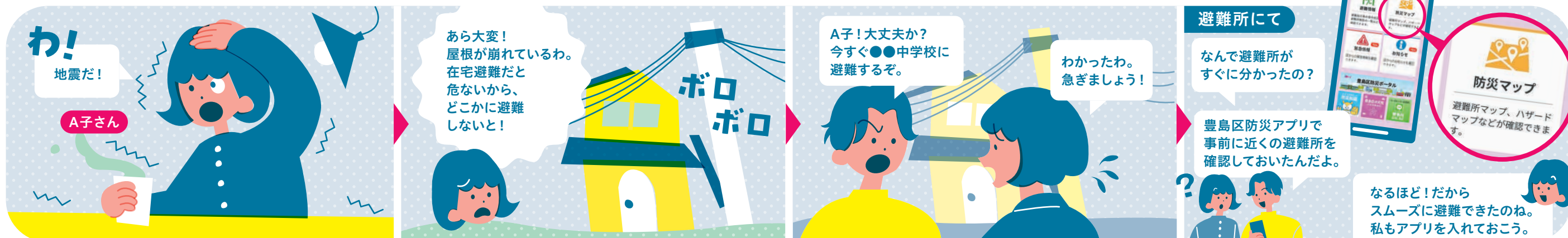
☎ 防災課訓練グループ ☎ 03-4566-2574

防災アプリ・ポータルについて



case 1 近くの避難所を知りたいとき

発災時は在宅避難が推奨されていますが、家屋の倒壊や火災の危険がある場合は、避難所への避難が必要です。突然の発災でも落ち着いて行動できるよう、避難所を把握しておきましょう。

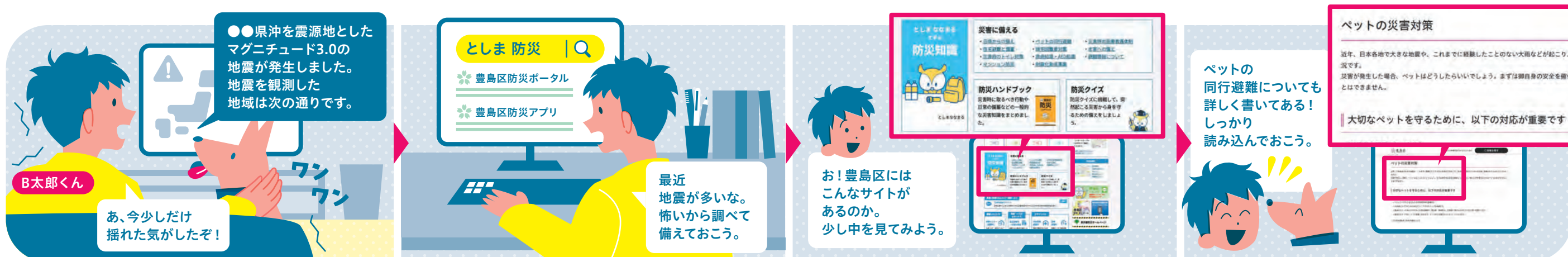


! 防災アプリを活用しよう!

位置情報から、最寄りの救援センター(避難所)や一時滞在施設を探すことができます。また、避難発令情報、避難所開設情報、区からのお知らせなどをプッシュ通知で受け取ることができます。

case 2 防災知識を身につけたいとき

自身や家族の安全を守るために、日頃から防災に関心を持ち、知識を身につけることが大切です。災害時に役立つ情報がまとまった、区公式の便利なポータルサイトがあるため活用しましょう。



! 防災ポータルを活用しよう!

発災時には「災害時モード」に切り替わり、緊急情報などの大切な情報がより目立つレイアウトに変化します。131言語に対応しており、区民や来街者などあらゆる方に防災情報をお届けします。

case 3 居住地区の天気や交通状況を知りたいとき

スムーズな避難には、住んでいる地域の天気や交通状況を把握することが重要です。いざという時にすぐチェックできるよう、事前にアプリやポータルの操作方法を確認しておきましょう。



! 防災アプリ・ポータルを活用しよう!

災害時に必要な情報が一元化され、発災時には災害情報をリアルタイムで確認できます。平時からも、各種防災情報や交通・気象・ライフライン情報を確認でき、防災クイズなど楽しく防災を学べるコンテンツも掲載しています。

【COLUMN 1】もし、災害時に困っている外国人を見かけたら?

対応① 「やさしい日本語」で話しかける

短く・ゆっくり・簡単な単語中心で話すようにしましょう。声をかけるだけでも大きな助けになります。

対応② 避難行動を一緒にする

「ついてきてください」とジェスチャーで示すだけでも大きな助けになります。外国人は、災害時には情報弱者になりやすく、周囲の人の行動が重要です。

対応③ 必要な情報を代わりに調べる

避難所の場所、交通状況、自治体の多言語ページなどを、代わりに調べて伝えましょう。多言語情報があっても、外国人が自力でたどり着けないことがあります。



【COLUMN 2】避難所チェックイン機能を活用しよう!

区公式LINEのチェックイン機能を活用し、事前登録を行うことで、避難所に到着してから避難者カードに記入する時間を短縮! スムーズに避難所へ入ることができます。

- STEP 1 区公式LINEを追加する
- STEP 2 トーク画面のメニューから「防災メニュー」を選択する
- STEP 3 「避難所チェックイン/避難所外の避難登録」を選択する
- STEP 4 「事前登録」を選択し、氏名・生年月日・住所などを入力する
- STEP 5 発災時、救援センター(避難所)に入る際に2次元コードを提示する



【COLUMN 3】いざという時に備える日頃の防災行動

個人でできる防災対策

- ✓ 燃えない家にするために「感震ブレーカー」を設置しましょう
- ✓ 家の中でけがをしないために「家具転倒防止器具」を設置しましょう
- ✓ 地震の後も自宅で過ごすために「備蓄」をしましょう
- ✓ 災害時に住民同士で助け合うために「マンションの防災計画」を作成しましょう

防災ハンドブックを公開しました!

地震への備えや発災時の行動、避難所での生活、防災アプリの活用方法など、災害時に役立つ情報をまとめた防災ハンドブックを作成しました。いざという時に備えて、ぜひ活用してください。 ☎ 防災課管理グループ ☎ 03-3981-2100

